

平成23年度 福岡県公共図書館等協議会「研修委員会」活動報告

1 設置目的

県協議会が主催する職員研修会が、広く会員の期待に応えるものとなり、また、真に職員の資質や能力の向上に繋がるものとなるよう、職員研修会の内容の充実に向けた企画検討を行う。併せて、県内で実施される研修会等の情報を集約し会員に提供する。

2 協議の概要

(1) 第1回委員会（平成23年9月14日）

- ① 第1回職員研修会の実施報告
- ② 第2回職員研修会の企画

(2) 第2回委員会（平成24年2月23日）

- ① 第2回職員研修会の実施報告
- ② 次年度館長等研修会及び第1回職員研修会の企画

3 平成23年度研修会について

(1) 館長等研修会

○講演「これからの図書館経営 ～ランガナタンの五法則に学ぶ～」

講師 図書館情報大学 名誉教授 竹内 哲 氏

【概要報告】

前年の同研修会は事業の企画やPRに関するテーマだったので、今年度は経営的な内容で、かつ新任館長にも役立つ基本的な内容で企画してほしいという要望が、前年度の研修委員会において出されていた。これを踏まえて、事務局の方で検討した結果、図書館運営における最も基本的な原則である「ランガナタンの五法則」に関する著書を出されたばかりの竹内哲氏に、この原則に沿った図書館経営に関する話をいただくこととした。

「ランガナタンの五法則」について解説した著書が数少ないこともあり、竹内氏のこの講義により、参加者はそれぞれにこの法則の言葉の裏にある深い意味について再認識することができたのではないかと思われる。

(2) 第1回研修会

○対 談 「本との出会いで人生は変わる」

作家 : 誉田 哲也 氏

本のソムリエ: 団 長 氏

○パネルディスカッション 「つながろう、学校と公共図書館とボランティア」

コーディネーター 大野城まどかびあ館長 林田 スマ 氏

パネリスト 宗像市立東郷小学校長 高宮 史郎 氏

〃 朝倉市立杷木中学校司書 田子森 篤子 氏

〃 小郡市立図書館司書 中村 文 氏

〃 福岡おはなしの会代表 八尋 理恵 氏

【概要報告】

県内の公共図書館の学校との連携に弾みをつける目的で、当研修の企画を行った。公共図書館職員、学校関係者、読書推進ボランティアが数多く参加し、定員を超える参加者が集まった。

著名なお二人の対談で気持ちをほぐした後に、本題である学校との連携に係るパネルディスカッションを行った。パネリストは、学校の管理職、学校司書、公共図書館司書、子どもの読書に携わるボランティアで、4者それぞれの立場から発言していただいた。これにより、今現在の学校での読書活動の現状と課題、それを克服しようとする様々な取組み、それからこのような学校の読書活動をサポートする側の取組みや課題が浮き彫りになったように思われる。林田スマさんの巧みなコーディネートもあり、最後には会場全体が立場の違いこそあれ、一緒に連携して同じ目標に向かって頑張らなければならないと思いを一つにできたように思う。

(3) 第2回研修会

○施設見学

伊万里市民図書館

○講話「利用促進のための事業及び方策」

講師 伊万里市民図書館長 古瀬 義孝 氏

【概要報告】

昨年に引き続き、バスを借り上げての視察見学を行った。見学を希望する施設は数多く挙がっていたが、研修委員会で協議した結果、市民とともに歩む図書館として有名な伊万里市民図書館を訪れることとした。

伊万里市民図書館は、施設の設計もユニークであるが、一つ一つのコーナーで違った見せ方を行っているので、全てが変化に富んでいて、見学の時間もあっという間に過ぎてしまうほどだった。限られた人数であれだけ細部にこだわった棚づくりをしていることに、皆驚きを隠せないようだった。

午後は、同図書館の古瀬館長に、ボランティアとの協働の話をはじめ、様々な伊万里市民図書館の取組みについてお話を伺った。参加者のほとんどが刺激を受けた様子であり、自館に戻ってまた頑張ってみようという前向きな気持ちになれる良い話を伺うことができた。

終日、大変有意義な時間を過ごすことができたのではないだろうか。

4 協議結果のまとめ

23年度の全体研修会は以上のとおりであるが、アンケート結果を見る限り、どの研修も参加者には好評だった。少しテーマを絞り込んだ感はあるが、その分、各地区協議会においてバラエティに富んだ中身のある研修会が実施されていたように感じられた。

研修委員の方々には、各地区会員の意見の集約や多岐にわたる研修テーマの絞り込みにお骨折りいただいたが、委員会においても活発な意見を交わされ、大変実のある話し合いができた。単に研修テーマを決めるだけでなく、ここで出た意見や議論は、今後の様々な研修企画や、本協議会の今後の取組みや方向性を考えるうえでも大変参考になるものだった。最後に一言、委員の皆様にお礼を申し上げたい。